

中東地域情勢研究会 第 19 回研究会 を行いました

2024 年 10 月 1 日

INPEX ソリューションズ(SLT)と東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)、池内恵教授の研究室による中東地域情勢研究会では、9 月 3 日に第 19 回研究会を行いました。今回の研究会は、東京大学先端科学技術研究センターで、対面とオンラインとのハイブリッドで開催し、「ガザ紛争をめぐる中東国際政治の展開: 米イスラエル関係と湾岸諸国」とのテーマで議論をしました。

関心事項

- * 「イスラエル問題」「ネタニヤフ問題」と化するガザ紛争
- * エジプト・ヨルダン・UAEの対応
- * レバノンへの紛争の拡大の経緯
- * イスラエル・イラン対立に対するGCC諸国の立場
- * 変容するイスラエル・米関係: 米大統領選挙のもたらす変化
- * 米国のサウジ・イスラエル国交正常化仲介の動向

昨年 10 月 7 日に始まった今回のガザ紛争は既に 1 年近くを経て、ガザのパレスチナ人犠牲者は 4 万人を超えたと伝えられています。米国・エジプト・カタールなどが仲介するイスラエルとハマースの停戦交渉も停滞しており、紛争がレバノンのヒズボラとの間へも拡大する様相を見せています。研究会でガザ紛争を取り

上げるのはこれで 3 回目ですが、今回の研究会では、中東及び湾岸諸国の視点から、また米国-イスラエル関係の点から、ガザ紛争が中東国際政治に与えている影響について、池内教授の報告を受けて、研究会参加者で検討・議論を行いました。



(株)INPEX ソリューションズでは、中東地域情勢研究会を通じて、今後も中東・ユーラシア地域の情勢を解説・発信していきます。

以上